



— 村長施政方針 —

「住み続けたい、住んでみたい」 魅力あるまちづくり

健全な財政運営を基本とし、国・県の動向も見極めながら、村民の皆さまの声を村の施策に反映させていきます。

さらには、厳しい財政状況のもと財源確保を図り、第5次総合計画に掲げる事業を着実に推進していきます。

●健全な財政基盤の確立

- ・ 自主財源の確保や人件費の削減等、歳出削減に努めるとともに、国県の補助制度を有効活用し、健全な財政基盤の確立と効果的な財政運営を推進。

●児童福祉・子育て支援の拡充

- ・ よもぎた児童クラブが利用している農業構造改善センターへエアコンを設置し、環境改善。
- ・ 村内に住所を有する高校生全員に1人につき月5,000円の通学助成。
(財源は過疎債)

●地域で支え合う福祉の推進

- ・ 障がい理由とする差別を解消する取組を円滑に行うため、「障がい者差別解消支援地域協議会」の設置。

●保健・医療の充実

- ・ 出産後安心して子育てができるよう産後ケア事業の実施。
- ・ 新生児聴覚検査の開始。
- ・ 虫歯予防のためのフッ化物洗口事業を小学校まで拡大。
- ・ 健康診査に併せ胃がん検診内視鏡検査の実施と若い女性が受診しやすい体制づくり。

●農林業の振興

- ・ 肉用牛の家畜改良対策として15頭の県外導入牛事業と係る産子の村内保留事業の実施。
- ・ 秋冬期野菜栽培における経営拡大のためパイプハウス設置支援と栽培技術の普及を進め、冬期間も安定生産ができるよう支援。

●商工業の振興

- ・ インターネットを活用した就職支援サイトを立ち上げ、企業情報や求人情報等を発信。
- ・ 村内中・高校生を対象に、地元企業の見学会、魅力紹介の取り組みを計画。

●道路・交通ネットワークの整備

- ・ 試行事業として75歳以上で車を運転しない方と運転免許証返納者を対象にタクシー利用助成事業を実施。
(村内での乗降が条件)
- ・ 村道逆水論田線(小平地区)の道路拡幅、整備に着手し、交通網の整備を図る。

●教育の充実

- ・ ひらた清風中学校校舎・屋内運動場は今年6月に完工予定、2学期から新校舎での本格的な活動開始を目指す。
- ・ こども園整備は、今年度中に整備内容等の方向性を検討し、31年度の建設を目指す。